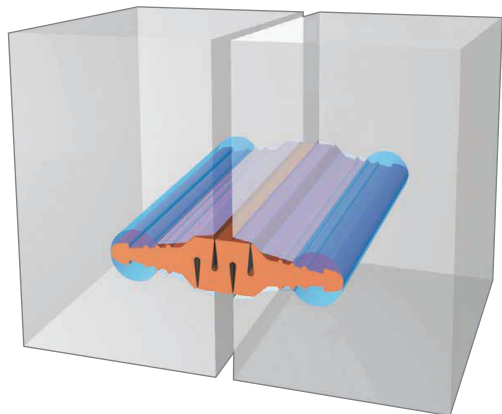


TSKJ工法

NETIS登録:KK-980097-A(掲載終了)

耐震性・止水性・可とう性対応型ジョイント工法



TSKJ工法とは

- T 耐震性**
S 止水性
K 可とう性
J ジョイント工法の総称です
- の性能を有し
 トータルコストを低減する

建設技術審査証明 取得

審査証明書 第1817号
 公益財団法人 日本下水道新技術機構

※本審査証明は、株式会社ヤマックスおよび
 丸栄コンクリート工業株式会社が取得したもの



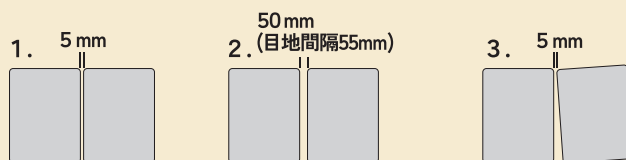
特徴 1:優れた可とう性・耐震性・止水性

可とう性

継手部がそれぞれの条件で水圧0.2MPaに耐える水密性を有する。

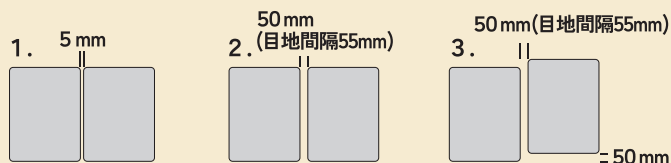
■プレキャストボックスカルバート

標準位置：目地間隔 5mm
 水平拔出し：50mm（目地間隔 55mm）
 屈曲変位：0.95°～4.76°
 （頂版目地間隔 5mm、底版目地間隔 55mm相当）



■開きょ・管きょ・L型水路等製品

標準位置：目地間隔5mm
 水平拔出し：50mm（目地間隔55mm）
 複合変位：50mm（目地間隔55mm）
 （水平方向変位+垂直方向変位）

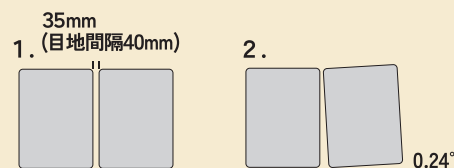
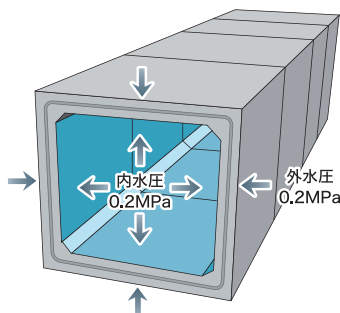


耐震性

継手部がレベル2地震動に対する次の複合条件で水圧0.2MPaに耐える水密性を有する

■プレキャストボックスカルバート

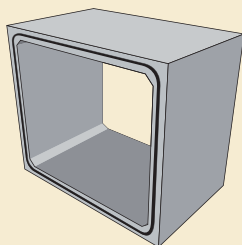
水平拔出し：35mm（目地間隔40mm）
 屈曲変位：0.24°



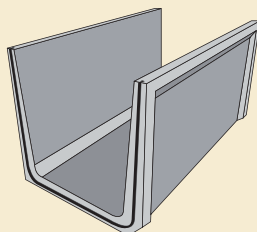
特徴 2 : 充実したプレキャストで様々な用途に対応

場所を選ぶことなく、あらゆる環境に柔軟に対応します。貯水池や調整池などの現場にも対応が可能です。

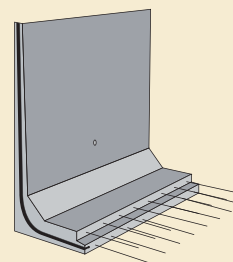
BOX カルバート



三面水路



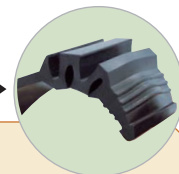
L型、逆T型水路



特徴 3 : 現場打ちとの接続にも柔軟に対応

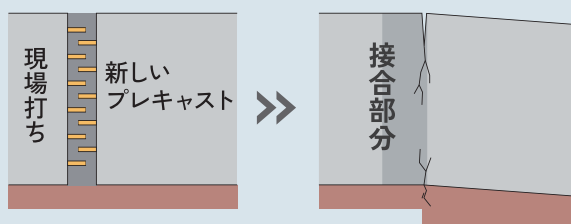
破損・亀裂の原因となっていた現場打ちとの接続も、TSKJシールゴムにより、外力や地盤のひずみに柔軟に対応します。

ジョイントシールゴム ▶



従来工法の場合

地盤沈下などが生じると、接合部分に亀裂などが発生



TSKJ 工法の場合

コンクリート ジョイントシールゴム

ジョイントシールゴムが地盤のひずみに対応

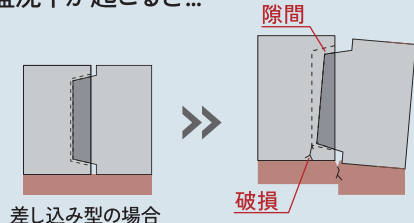


特徴 4 : 高い止水性

従来タイプの漏水のあらゆる問題点を解決し、高い止水性を発揮します。

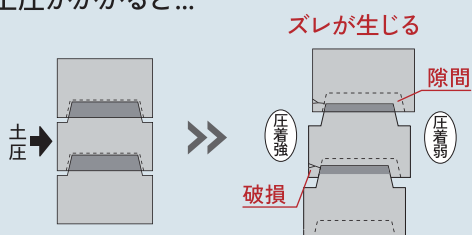
従来工法の漏水の問題点

地盤沈下が起こると...



差し込み型の場合

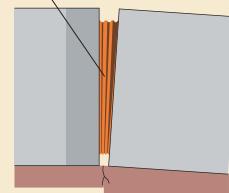
土圧がかかると...



TSKJ 工法の場合

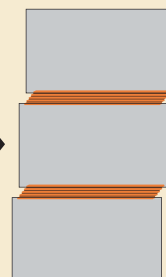
地盤沈下が起きても
ジョイントシールゴムが
地盤のひずみに対応

ジョイントシールゴム



土圧がかかっても
ジョイントシールゴムが
あらゆる方向の
地盤変形に対応

土圧



高い止水性は
同時に土砂の
流入を防ぐ効果も
あります。

ジョイントシールゴム 規格寸法図

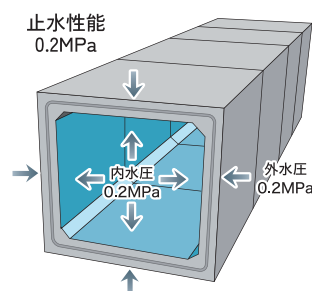
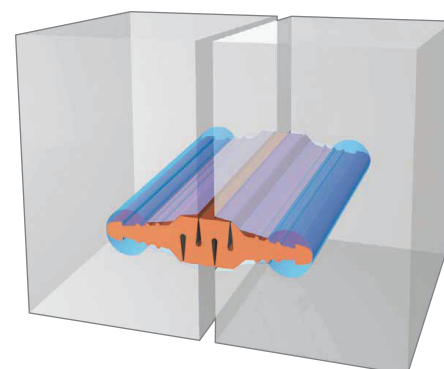
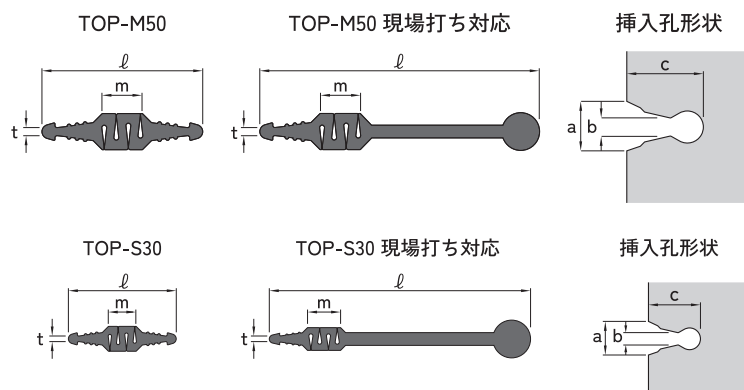
完全止水には

TOPグレード

樹脂
あり

あらかじめコンクリートブロックの接合部に挿入孔を設け、その挿入孔に樹脂を充填してジョイントゴムを挿入、コンクリートブロックを一体化させます。

■ 規格



■ 寸法表

単位 mm

規格	l	m	t	a	b	c
TOP-M50 建設技術審査証明取得タイプ	78.0	20.0	8.5	24.0	8.5	37.0
TOP-M50 現場打ち対応	135.0	20.0	8.5			
TOP-S30	53.0	16.0	5.5	15.0	6.0	26.0
TOP-S30 現場打ち対応	126.5	16.0	5.5			

簡易止水には

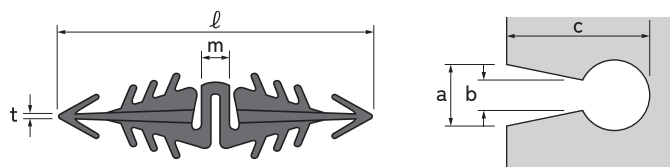
NEWグレード

樹脂
なし

コンクリートブロックの接合面の開穴部に、ジョイントシール材の先端係止部を圧挿入し、矢形が開くことにより、開穴部に係止されます。

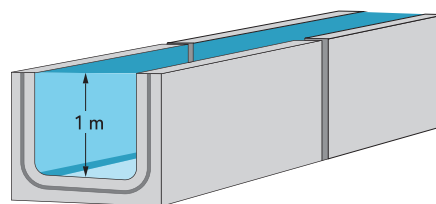
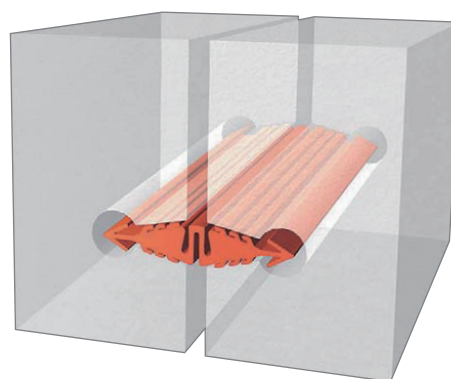
止水性能は、リップが圧着部にフィットし確保され、耐震性、可とう性はジョイントシール材、中央の可とう性により、伸縮自在となり保持されます。

■ N ジョイントシール材



◎可とう量 / S 10mm・SS 5mm

◎止水性能 / 0.01MPa



■ 寸法表

単位 mm

規格	l	m	t	a	b	c
N-S ジョイントシール材	54.4	4.8	1.0	13.3	5.5	26.2
N-SS ジョイントシール材	34.4	3.6	1.2	7.6	3.8	17.1

施工手順

1. 製品据付け



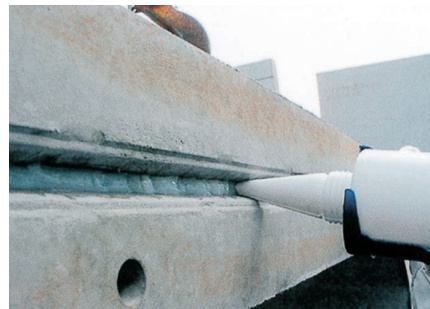
1本目の製品を据え付けます。

2. 樹脂練り混ぜ



樹脂の計量・練り混ぜを行い、コーキングガン等に充填します。

3. 樹脂充填



先に据えた製品及び次の製品のTSKJ目地溝に樹脂を充填します。

4. シール材装着



先に据えた製品にシール材を叩き込みます。

5. 製品引き寄せ



次の製品の目地溝とシール材の位置を合わせ、ターンバックル等を使用して製品を引き寄せます。

参考歩掛表

■ 目地取付工

名称	規格	単位	数量	金額	備考
目地材	TSKJ シールゴム	m			EPDM
目地取付工	普通作業員	人			
諸雑費	労務費の	%	5		
計					

名称	工種	1日当り	1日当りゴム目地取付量
目地取付工	普通作業員	2人	500m (M・S 問わず)

■ 目地充填工 (Mサイズ/Sサイズ)

名称	規格	単位	数量	金額	備考
目地充てん材	EPF-986	kg			エポキシ系接着剤
目地充てん工	防水工	人			
諸雑費	労務費の	%	10		
計					

名称	工種	1日当り	1日当り充てん材注入量
目地取付工	防水工	1人	48kg(M)/24kg(S)

【充填量 (kg) の算出】 ●M サイズ / $125(\text{mm}^2) \times \text{シール長 (mm)} \times 1.2 \times \text{充填箇所数} \div 1000000 \times 1.05(\text{kg}/\ell)$
 ●S サイズ / $52(\text{mm}^2) \times \text{シール長 (mm)} \times 1.2 \times \text{充填箇所数} \div 1000000 \times 1.05(\text{kg}/\ell)$